

12月 図書室だより

2024.12

秩父市立荒川中学校図書室

通りの木々が思い出したかのように紅葉し始め、今年も残すところあとわずかとなりました。もうすぐ来る冬休みは、本を読むチャンス！冬休み用の本の貸し出しは次のように行いますので、ぜひご利用ください。図書委員さんがいろいろな本を紹介してくれているので、そちらも参考にしてみてください。

<冬休み用の本の貸出について>

まず、12/10(火)までに、今かりている本を一度全部返しましょう！

<貸出> 12/12(木)・12/13(金)・12/17(火)の昼休み
全校対象 一人10冊まで

<返却> 1/17(金)までをお願いします。

<荒川中読書週間をふりかえって>

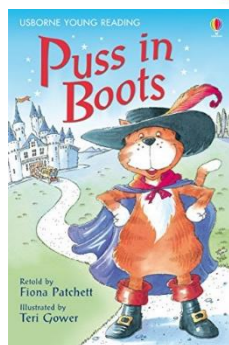


11/11~11/15、『荒川中読書週間』を実施しました。期間中には図書委員さんがリモート生徒朝会にて図書に関するクイズや本紹介、寄贈本についての発表をしました。また、お昼の放送では図書室で人気の本の紹介や、世界で一番古い童話についてなど本にまつわる豆知識などをお知らせしました。



図書室では季節の飾り付けをし、期間中毎日、全校生徒を対象に貸出を行いました。その結果、4日間で約68名の利用、89冊の貸出となりました。準備したヨシタケシンスケさんイラストのしおりも、喜んでいただけたようで良かったです。これを機会に、ますます本を手にとる機会が増えますよう願っています。

<図書委員おすすめの本ご紹介>



このお話は簡単に説明すると、一匹のねこが頭を使って一人の男を幸せにするお話です。まだ知らない単語など出てくるかもしれませんが、挿絵を見ながら読み進めていけば、大体は理解ができると思います。気軽に英語に触れられる本になっています。

『Puss in Boots』 テリ・ガウアー編



この本は「神戸のお嬢様」と呼ばれているジャイアントパンダ・タンタンの帰国までのお話です。元々WEBサイトで連載されていたものが書籍化されたもので、タンタンの愛らしい姿をみられます。

『水曜日のお嬢様 タンタンのゆるゆるライフ』 二木繁美・著



この本は主人公・美嘉の切ない恋物語です。言葉の表現で物語の想像がつきやすく、とても読みやすい本になっています。横書きで、好みが変われると思いますが、ストーリーは主人公の気持ちがわかりやすく、とてもおもしろいです。

『恋空』 美嘉・著



この本は、うそつきな中学生が一人で九州からディズニーランドに行く物語で、途中までは順調だったのですが、帰りの飛行機に乗り遅れてしまい、所持金も少なく帰れなくなってしまう物語です。

『『また、必ず会おう』と誰もが言った』 喜多川泰・著



この本は映画「魔女の宅急便」の原作です。映画では出てこない人物や話が読めるので、ぜひ映画と違うところに注目して読んでみてください。

『魔女の宅急便』 角野英子・著



皆さんは旅をしたいと思ったことはありますか？僕は昔、エジプトに行ってみたかったのですが、ミイラの画像が怖くて海外に行きたくなくなりました。そんなエジプトや世界にはたくさんの世界遺産というものがあります。海外が好きな方は、ぜひ読んでみてください。

『世界でいちばん素敵な世界遺産の教室』 片岡 英夫・著



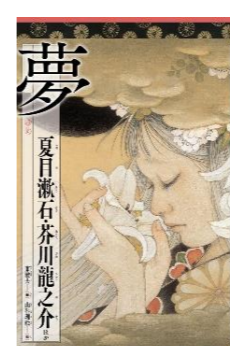
これは、とある夏の日、主人公・月沢陸真が経験した話。彼はいつものように図書館へ向かう。すると父から電話が来た。彼は質問に軽く答えて電話をきった。それが父との最後の会話とも知らずに…。彼の中学生生活最後の夏休みが、どのような物語なのか、ぜひ読んでみてください。

『魔女と過ごした七日間』 東野圭吾・著



林ちひろ・中学三年生は病弱で、親は救いたい一心であやしい宗教にのめり込んでいき家族の形をゆがめていくお話です。

『星の子』 今村夏子・著



この本は、有名な作家の夏目漱石や芥川龍之介などの作品が10作、収録されています。国語の勉強にもなると思います。

文豪ノ怪談ジュニアセレクション『夢』 夏目漱石・芥川龍之介他/著



皆さん“孤独”を感じる日はありますか？自信がなくなって立ち止まったことはありますか？そんな時にこの本を読むと場が温まり、寄り添ってくれたりします。そしてイラストもかわいいです。

『君がいるから』 まなつ&まふゆ・著



いつ読むの？ 今でしょ！



また、三学期の利用をお待ちしています。良いお年を！

